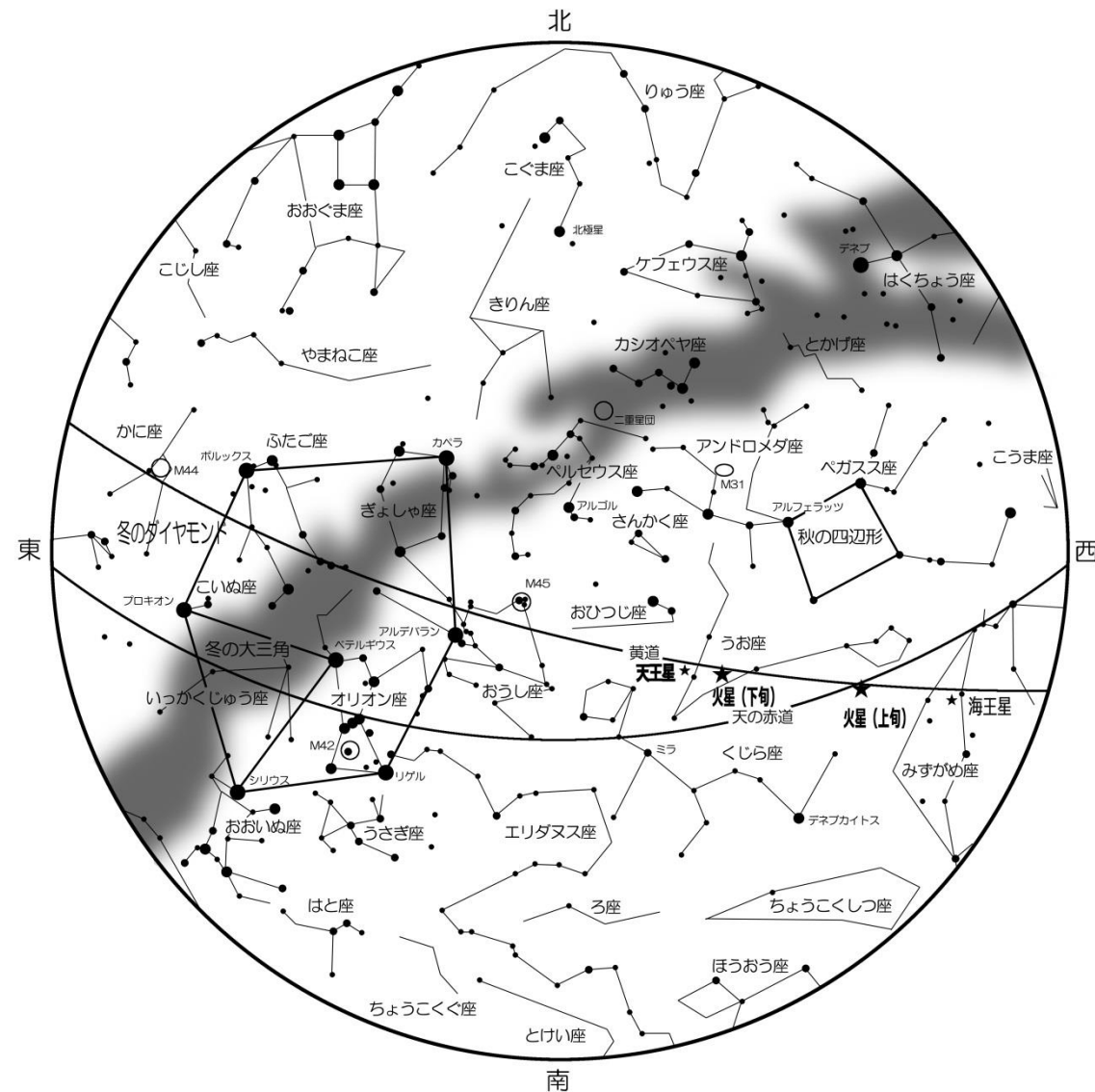


平成31年 1月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



★1月の星空案内

今月の星座探しはオリオン座からスタートです。オリオン座は等間隔に並んだ3つの星“三つ星”が目印。“三つ星”の左上で赤っぽく輝いているのが1等星のベテルギウス、右下で青白っぽく輝いているのが1等星のリゲルです。オリオン座の“三つ星”を北西にのぼしていくと、オレンジ色っぽく輝くおうし座の1等星アルデバラン、反対に南東にのぼしていくと、全天で最も明るく輝くおおいぬ座の1等星シリウスが見つかります。そして、オリオン座の東側には、こいぬ座の1等星プロキオンがあります。このプロキオン、シリウス、ベテルギウスを結んでできる三角形を“冬の三角形”といい、冬の星座探しのよい目印となります。プロキオンの北で明るく輝く星はふたご座の1等星ポルックス。その西側でやや黄色っぽく輝いているのが、ぎょしゃ座の1等星カペラです。このカペラを頂点にして、ポルックス、プロキオン、シリウス、リゲル、アルデバランの6つの1等星を結んでできる大きな六角形を“冬のダイヤモンド”といいます。

凜とした冬の夜空で明るく輝く冬のダイヤモンドを、ぜひ探してみませんか。

< 現在見える惑星 >

- | | |
|----------------------------|--------------------------------------|
| 水星 (-0.7 等前後):へびつかい座→やぎ座付近 | 観測に適さない |
| 金星 (-4.4 等前後):てんびん→さそり座付近 | 夜明け前、南東の低空でひととき明るく輝く。 |
| 火星 (0.7 等前後):うお座付近 | 20 時頃、南西の空で輝く。 |
| 木星 (-1.8 等前後):へびつかい座付近 | 夜明け前、南東の低空で明るく輝く |
| 土星 (0.5 等前後):いて座付近 | 下旬、夜明け前、南東の低空で輝く。
(上旬や中旬は観測に適さない) |

2019年 注目の天文現象(まとめ)

- 1月 4日:しぶんぎ座流星群が極大(11時、条件最良)
- 1月 6日:部分日食(福岡:食の始まり8時38分38秒、食の終わり11時04分43秒)
- 5月22日:未明、南の空で木星、月、土星が等間隔、一直線に並ぶ
- 7月17日:部分月食(九州・沖縄方面で月没帯食。欠け始め5時01分)
- 8月13日:ペルセウス座流星群が極大(17時、条件悪)
- 9月13日:中秋の名月
- 11月29日:夕方、南西の空で木星、金星、三日月、土星がほぼ等間隔、ほぼ一直線に並ぶ
- 12月15日:ふたご座流星群が極大(2時、条件悪)
- 12月26日:部分日食(福岡:食の始まり14時14分01秒、食の終わり16時28分16秒)

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
4	金	しぶんぎ座流星群が極大(11時頃)	14	月	☾ 上弦 (15:46)
6	日	●新月 (10:28)	21	月	○満月 (14:16)
		部分日食 (福岡:食の始まり8時38分38秒 食の終わり11時04分43秒) 金星が西方最大離角 (13:54)			南北アメリカ方面で皆既月食 (日本では見られない)
			28	月	☾ 下弦 (06:10)